



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月24日

上場会社名 未来工業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7931 URL <https://www.mirai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 雅裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中島 靖 TEL 0584-68-1200
 四半期報告書提出予定日 2020年1月30日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年3月21日～2019年12月20日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	29,000	4.7	3,413	3.9	3,459	4.3	2,297	△32.4
2019年3月期第3四半期	27,694	2.2	3,286	△5.6	3,318	△6.6	3,398	40.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,289百万円 (△48.1%) 2019年3月期第3四半期 4,414百万円 (42.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	126.48	—
2019年3月期第3四半期	146.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	56,404	43,129	75.9
2019年3月期	67,253	54,546	80.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 42,797百万円 2019年3月期 54,252百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	16.00	—	24.00	40.00
2020年3月期	—	20.00	—		
2020年3月期（予想）				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年3月21日～2020年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,286	3.5	3,821	△2.1	3,848	△1.7	2,628	△36.1	146.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	25,607,086株	2019年3月期	25,607,086株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	8,438,758株	2019年3月期	2,442,821株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	18,166,696株	2019年3月期3Q	23,161,324株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用情勢の改善は続いているものの一部では企業収益に足踏み傾向が見られました。また、個人消費の足取りは重く力強さに欠けており、先行きについては不透明な状況で推移しております。

当社グループの事業関連である住宅建築業界では、政府による住宅取得支援策や低水準の住宅ローン金利等が継続しており、持家や分譲一戸建住宅の着工戸数は底堅く推移しているものの貸家の着工戸数の落ち込みにより減少傾向で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは継続的な新製品の市場投入に加え、活発な営業活動を展開した結果、売上高は過去最高の290億円と前年同四半期に比べ13億5百万円(4.7%)の増収となりました。利益につきましては、外注加工費の増加等があったものの増収効果等により、営業利益は34億13百万円と前年同四半期に比べ1億26百万円(3.9%)の増益、経常利益は34億59百万円と前年同四半期に比べ1億41百万円(4.3%)の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、22億97百万円と共同ビル(東京都中央区)等の固定資産売却益17億47百万円を特別利益に計上した前年同四半期に比べ11億円(32.4%)の減益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

(電材及び管材)

電材及び管材につきましては、建築工事現場において技能労働者の不足が叫ばれるなか、作業の省力化を目指した製品づくりとともに、さまざまな現場に適した多種多様な製品展開を進めることにより、業界の支持を得ております。

電材では、公立小中学校への空調設備工事の特需等あった硬質ビニル電線管「J管」やその附属品等が増加しました。また、施工性に優れた合成樹脂製可とう電線管「ミラフレキSS」やその附属品が堅調に推移したことにより、電線管類及び附属品が増加しました。一方、管材では、「ミラベックス」等の給水給湯用の樹脂管とその継手が減少しました。その結果、売上高が219億39百万円と前年同四半期に比べ7億40百万円(3.5%)の増収となりました。営業利益は増収効果等があったものの外注加工費や減価償却費の増加等により、27億91百万円と前年同四半期に比べ61百万円(2.2%)の減益となりました。

(配線器具)

配線器具につきましては、意匠性の高い配線器具「NK SERIE」の増加に加え、電材ルートへの活発な営業活動により「J・WIDE」等の配線器具が堅調に増加した結果、売上高が47億26百万円と前年同四半期に比べ1億93百万円(4.3%)の増収となりました。営業利益は増収効果等により5億60百万円と前年同四半期に比べ75百万円(15.7%)の増益となりました。

(その他)

その他につきましては、「省力化機械及び樹脂成形用金型」が自動車関連向けの樹脂成形用機械が堅調に増加したことに加え、「データセンター」が堅調に推移した結果、売上高が23億34百万円と前年同四半期に比べ3億71百万円(18.9%)の増収となりました。営業利益は5億65百万円と前年同四半期に比べ1億24百万円(28.3%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて108億48百万円減少し、564億4百万円となりました。その主な要因は、自己株式の取得に伴い現金及び預金が106億33百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて5億68百万円増加し、132億75百万円となりました。その主な要因は、売上高増加に伴う仕入高の増加により支払手形及び買掛金が3億77百万円増加、短期借入金が2億43百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて114億16百万円減少し、431億29百万円となりました。その主な要因は、自己株式取得に伴い自己株式が127億68百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の実績及び足許の業績動向を踏まえ、2019年4月26日に公表いたしました2020年3月期通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,580	14,947
受取手形及び売掛金	10,671	11,861
有価証券	997	500
商品及び製品	3,792	3,722
原材料及び貯蔵品	1,179	1,209
その他	849	843
貸倒引当金	△19	△20
流動資産合計	43,051	33,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,102	5,926
機械装置及び運搬具(純額)	2,763	2,793
土地	5,426	5,395
建設仮勘定	418	673
その他(純額)	587	587
有形固定資産合計	15,297	15,376
無形固定資産	506	426
投資その他の資産		
投資有価証券	1,771	1,167
繰延税金資産	1,414	1,223
退職給付に係る資産	542	609
長期預金	4,000	4,000
その他	845	711
貸倒引当金	△176	△175
投資その他の資産合計	8,397	7,535
固定資産合計	24,201	23,339
資産合計	67,253	56,404
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,460	6,837
短期借入金	79	322
1年内返済予定の長期借入金	300	318
未払法人税等	600	345
賞与引当金	—	438
その他	3,012	2,637
流動負債合計	10,453	10,901
固定負債		
長期借入金	365	352
再評価に係る繰延税金負債	111	105
株式付与引当金	722	810
役員退職慰労引当金	100	94
退職給付に係る負債	631	650
その他	321	360
固定負債合計	2,253	2,373
負債合計	12,706	13,275

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,067	7,067
資本剰余金	9,538	9,538
利益剰余金	41,023	42,397
自己株式	△3,184	△15,952
株主資本合計	54,445	43,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	205	176
土地再評価差額金	△482	△497
退職給付に係る調整累計額	84	67
その他の包括利益累計額合計	△193	△253
非支配株主持分	294	332
純資産合計	54,546	43,129
負債純資産合計	67,253	56,404

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年12月20日)
売上高	27,694	29,000
売上原価	17,033	17,879
売上総利益	10,661	11,120
販売費及び一般管理費		
運賃	1,728	1,853
貸倒引当金繰入額	△6	1
役員報酬	165	208
給料及び手当	2,471	2,534
賞与引当金繰入額	150	138
退職給付費用	90	102
株式付与引当金繰入額	44	45
役員退職慰労引当金繰入額	10	11
その他	2,719	2,811
販売費及び一般管理費合計	7,375	7,707
営業利益	3,286	3,413
営業外収益		
受取利息	7	11
受取配当金	25	26
保険事務手数料	5	4
固定資産売却益	33	21
投資有価証券売却益	—	70
補助金収入	70	11
作業くず売却益	11	11
その他	59	64
営業外収益合計	213	222
営業外費用		
支払利息	5	5
売上割引	139	137
その他	36	32
営業外費用合計	181	175
経常利益	3,318	3,459
特別利益		
固定資産売却益	1,747	—
補助金収入	477	—
特別利益合計	2,224	—
特別損失		
固定資産圧縮損	477	—
特別損失合計	477	—
税金等調整前四半期純利益	5,065	3,459
法人税、住民税及び事業税	888	915
法人税等調整額	743	208
法人税等合計	1,632	1,123
四半期純利益	3,432	2,335
非支配株主に帰属する四半期純利益	34	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,398	2,297

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年12月20日)
四半期純利益	3,432	2,335
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△207	△29
土地再評価差額金	1,200	—
退職給付に係る調整額	△10	△16
その他の包括利益合計	982	△46
四半期包括利益	4,414	2,289
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,380	2,251
非支配株主に係る四半期包括利益	34	38

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月13日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定に基づき自己株式の取得に係る事項及びその具体的な取得方法について決議し、東京証券取引所の自己株式立会外買付制度(T o S T N e T - 3)による買付により普通株式6,000,000株を12,774百万円で取得いたしました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年3月21日 至2018年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,198	4,533	25,732	1,962	27,694
セグメント間の内部売上高 又は振替高	183	—	183	2,994	3,177
計	21,381	4,533	25,915	4,956	30,872
セグメント利益	2,853	484	3,337	440	3,778

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ケーブルテレビ事業、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、運送事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,337
「その他」の区分の利益	440
セグメント間取引消去	6
全社費用(注)	△470
棚卸資産の調整額	△1
有形固定資産の調整額	△26
無形固定資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	3,286

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年3月21日 至2019年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,939	4,726	26,666	2,334	29,000
セグメント間の内部売上高 又は振替高	169	—	169	3,325	3,494
計	22,108	4,726	26,835	5,659	32,495
セグメント利益	2,791	560	3,352	565	3,918

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ケーブルテレビ事業、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、運送事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,352
「その他」の区分の利益	565
セグメント間取引消去	7
全社費用(注)	△494
棚卸資産の調整額	0
有形固定資産の調整額	△18
無形固定資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	3,413

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。